

様式 2

教 科
国 語

種 目
書 写

発 行 者
三省堂

調査項目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の筆使いについて、薄墨入り朱墨や運筆の写真の効果的な明示により、楷書と行書の違いを理解しやすいように配慮されている。 ・筆順の原則と意義を照らしながら文字の整え方のルールを理解したり行書の点画や筆順の変化を楷書と行書の違いで視覚的に捉えたりできるように、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう十分に配慮されている。 ・横書きの行のそろえ方や、手紙の時候の挨拶例を手書きで示すなど、生徒が直面しそうな問題に対応した教材を扱い、社会生活に生かせるよう十分に配慮されている。 ・硬筆の練習教材として、国語の古典教材文や理科の学習内容のノート例などを用い、生徒が生かしやすいよう配慮されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・便箋と封筒、荷物の送り状、願書、提出物など、日常生活の中で扱う書式についての書き方のポイントを示し、日常とのつながりを意識させる上で配慮されている。 ・単元名の目標を明示し、「考えよう」「話し合おう」の欄を設けることで、生徒の主体的な学びを促すよう配慮されている。 ・学んだことを生かして文字を書くページ等、生徒が家庭でも練習できるよう配慮されている。 ・平仮名や片仮名の成立や文字の変遷について説明するとともに、書くことが文化として定着した年賀状や書き初めを例にするなどして、文字文化に親しめるよう配慮されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験のお礼の手紙を題材にして、感謝の気持ちをもつことを大切にしたり、相手に応じた書体や文面を考える教材を設けて、相手を思いやる大切さを学んだりするなど配慮されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・薄墨と朱墨が鮮明であり、二つを効果的に使用することで、行書の筆使いが理解しやすいよう配慮されている。 ・毛筆手本として使用する際、折りやすく、使用上の便宜に配慮されている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基礎的・基本的な書き方が習得できる言語活動や、社会生活に生かせる学習過程の位置付けにおいて、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう十分に配慮されている。 ・学習意欲の喚起や学び方の位置付け等において、主体的な態度の育成が図られるよう配慮されている。 ・「地域社会人」の育成が図られる職場体験のお礼の手紙等の教材が配列されており、また、印刷・造本においても配慮されている。